

目次

序		横須賀市史編さん委員会委員長 山中 裕
『新横須賀市史』別編 文化遺産について		文化遺産部会長 藤森 照信
凡例		

第一編 近代化遺産

口 絵

第一章 総説

第一節 横須賀の近代化遺産		13
近代化遺産について／全国的傾向と横須賀の特徴／先行調査・研究と調査方法／本編の構成		
第二節 近代化遺産の背景		16
海軍施設の拡充／東京湾防衛の拠点―三浦半島と横須賀／都市基盤の整備		
第三節 近代化遺産の現存状況とその特色		20
近代化遺産の分布／近代化遺産の形態／旧海軍建築に見られる構造の発達／まとめ		

第二章 各説

第一節 米海軍横須賀基地

一 米海軍基地内に残る近代化遺産		26
横須賀製鉄所／海軍における施設の更新と拡大／終戦時の建造物配置／米海軍基地内の現存施設		
二 ドックほか土木施設		34
土木施設の概説／一号ドック（旧横須賀製鉄所第一船渠）／三号ドック（旧横須賀造船所第二（後に第三）船渠）／二号ドック（旧横須賀造船所第二船渠）／その他のドック／A 64建物（旧横須賀海軍工廠第四・第五船渠唧筒所）／その他の土木遺構		
三 庁舎・事務所		57
概説／C 1建物（旧横須賀鎮守府庁舎）／B 39 A建物（旧横須賀海軍工廠造船部造機部製図工場）／B 39建物（旧横須賀海軍工廠庁舎）／E 22建物（旧横須賀海軍病院庁舎および兵舎）／C 2建物（旧横須賀鎮守府会議所・横須賀海軍艦船部）		

四 工場・倉庫.....79

概説／F 13建物（旧横須賀海軍兵器廠兵器庫預り兵器庫）／
B 42建物（旧横須賀海軍工廠発電所）／A 33建物（旧横須賀
海軍工廠造機部製罐工場）／A 36建物（旧横須賀海軍工廠造
機部銅工場）／A 39建物（旧横須賀海軍工廠造機部外業工場）
／B 49建物（旧横須賀海軍工廠造船舶薄板工場）・B 52建物
（旧横須賀海軍工廠造船舶機具工場）

五 機械設備.....105

機械設備の概説／三トンスチームハンマー／〇・五トンス
チームハンマー／二〇〇トンクレーン／明治四一年製天井ク
レーン

第二節 夏島・浦郷地域.....120

地域と施設の沿革／現存状況と建物の特徴／北辰工業株式会
社横須賀工場B館（旧海軍航空技術廠庁舎および研究所）

第三節 船越地域.....131

地域と施設の沿革／現存状況／東芝ライテック株式会社一〇
〇号建物（旧横須賀海軍工廠造兵部庁舎製図工場）／海上自
衛隊横須賀造修補給所工作部I-18建物（旧横須賀海軍工廠造
兵部砲塔工場）

第四節 田浦地域.....144

地域と施設の沿革／現存施設／関東自動車工業株式会社二号
館（旧海軍水雷学校第四兵舎）／相模運輸倉庫株式会社F号
倉庫（旧横須賀海軍軍需部第二水雷庫）／海上自衛隊艦船補

給処N-4倉庫（旧横須賀海軍軍需部第三計器庫）

第五節 逸見・中央地域.....158

地域の概説／横須賀市上下水道局逸見浄水場緩速ろ過池調整
室・配水池入口・ベンチュリメーター室（旧横須賀軍港水
道逸見浄水場）

第六節 猿島.....166

猿島の概説／砲台施設の変遷／現存遺構について／関連事項

第七節 走水・観音崎地域.....174

地域の概説／走水第一隧道・走水第二隧道／横須賀市上下水
道局走水水源池煉瓦造貯水池（旧横須賀軍港水道走水水源池
貯水池）／横須賀市上下水道局走水水源池鉄筋コンクリート
造浄水池（旧横須賀軍港水道走水水源池貯水池）／観音埼灯
台／観音崎青少年の村一号館（旧東京湾要塞観音崎砲台第二
火薬庫）・同二号館（旧同火具庫）・同三号館（旧同第一火薬
庫）

第八節 浦賀地域.....191

地域の概説／シテイマリナー・ヴェラシス内川間ドック（旧
石川島造船所浦賀分工場船渠）／住友重機械工業株式会社浦
賀工場一号ドック（旧浦賀船渠株式会社第一船渠）

第九節 周辺の近代化遺産.....199

概説／文化興業株式会社社屋（旧松田建設株式会社社屋）／
第三海堡構造物（兵舎）／鉄道・道路トンネル群／鉄道駅
舎（JR横須賀駅・久里浜駅・衣笠駅、京急県立大学駅・大

津駅)／馬堀自然教育園飼育棟および倉庫(旧陸軍重砲兵学校火具庫)／陸上自衛隊久里浜駐屯地施設四棟(旧海軍通信学校施設)／陸上自衛隊武山駐屯地・少年工科学校・海上自衛隊横須賀教育隊施設(旧武山海兵団本団および分団施設)／富士電機アドバンステクノロジー株式会社G3倉庫(旧海軍大楠機関学校汽罐場)	付録 明治期における横須賀海軍建設組織と建築技術者……………	215
--	--------------------------------	-----

第二編 近代建築

口 絵

第一章 総説

第一節 横須賀の都市形成……………	239
一 江戸時代の浦賀湊と横須賀村	
二 横須賀製鉄所の設置とフランス人居留地	
三 海岸の埋め立てと一般市街地の形成	
四 市街地の拡大と関東大震災の与えた影響	
五 昭和の横須賀と戦時下および戦後の処理へ	
六 まとめ	
第二節 横須賀の近代建築……………	253
一 石造商家・看板建築・旅館料亭の町並み	

第二章 各説

二 外国人の洋風文化と衛生思想の普及、そして公共施設の充実	
三 軍都としての住宅と官舎	
四 横須賀の社会事業と郊外での別荘・住宅地の形成	
五 横須賀の公営住宅と戦後の課題	
六 まとめ	
第一節 市街地の建築……………	264
一 概説	
二 町並みと商家	
町並みと歴史／商家の事例(釜屋金物店、柴崎邸、藤井邸(旧藤屋染物店)、泡屋・石井カメラ店・大木質店、高梨邸、小林邸、鈴木呉服店、市川邸(旧市川薬局)、藤平邸)	
三 店舗向き住宅	
店舗向き住宅の概要／店舗向き住宅の間取り	
四 旅館・料亭	
遊興施設の概要／料亭小松／新井閣／飯田屋／逸見旅館／旧蓬萊屋(すぺーす三季)	
第二節 公共建築……………	296
一 概説	
二 町役場と町内会館	
旧田浦町役場／東中里町内会館	
三 教会	

日本基督教団横須賀上町教会・附属めぐみ幼稚園

四 医院

船津眼科医院／佐藤邸／毛利医院

五 写真館

松岡写真館

第三節 軍港と官舎

316

一 概説

横須賀における官舎／官舎の歴史と成り立ち／海軍の官舎規則と住宅戸数

二 横須賀製鉄所のお雇い外国人官舎

お雇い外国人官舎の概説／旧横須賀製鉄所副首長官舎（米海軍基地内B53建物）

三 横須賀鎮守府司令長官・副官官舎

横須賀鎮守府司令長官官舎（現田戸台分庁舎）／横須賀鎮守府司令副官官舎

四 横須賀鎮守府士官・下士官官舎

稲岡・楠ヶ浦に残る士官の官舎住宅（米海軍基地内四棟）／郊外に広がる軍人住宅

第四節 住宅政策と社宅・公営住宅

347

一 概説

二 社宅

社宅の概要／浦賀船渠における社宅と福利厚生施設／現存状況と事例

三 組合住宅

住宅組合の概要／横須賀で組織された住宅組合／横須賀で建てられた組合住宅

四 公営住宅

戦前の公営住宅事業／戦後住宅政策と引揚者を対象とした応用仮設住宅／横須賀市賃貸住宅使用条例に基づく市営住宅地／公営住宅法施行後の市営住宅事業／高度経済成長期以降の集合団地のあり方と現状について

第五節 住宅地の広がりとは別荘建築

384

一 概説

二 洋風住宅

矢野邸／鈴木邸／高橋邸／旧馬淵邸

三 和風住宅

川島邸

四 皇族別荘

旧竹田宮別邸（現北原邸ゲストハウス）

五 和風別荘

旧小林正直別邸（元横須賀市保養所荒崎寮）／旧万代順四郎・トミ夫妻別邸（横須賀市万代会館）

六 洋風別荘

旧井上成美邸

参考文献

404

第三編 近世建築

口 絵

はじめに

第一章 近世寺社建築の概説

第一節 寺院建築の分布	418
-------------	-----

一 宗派別寺院分布

二 地域別寺院分布

三 寺院建築遺構の分布

第二節 神社建築の分布	422
-------------	-----

一 はじめに

二 地域別神社分布 近世の村と鎮守

三 神社建築遺構の分布

第三節 寺院建築遺構の概要	428
---------------	-----

一 本堂の形式

浄土宗本堂の形式／日蓮宗本堂および時宗本堂／浄土真宗本堂／臨済宗本堂／真言宗仏堂

二 境内仏堂

三 門

四 鐘楼

五 厨子・須弥壇

六 庫裏

第四節 神社建築遺構の概要	450
---------------	-----

一 遺構の概要

二 一間社流造本殿

三 三間社流造

第五節 寺社造営について	456
--------------	-----

一 造営工匠に関して

はじめに／職工と名称

二 関東大震災と横須賀の寺社建築

はじめに／寺社建築に見る震災の影響

第六節 装飾細部について	469
--------------	-----

一 木鼻絵様刳形

二 幕股絵様刳形

三 虹梁絵様刳形

四 彫刻欄間と彫物師

五 小壁の漆喰細工（漆喰鍔絵）

六 塗装彩色

第二章 近世寺社建築の個別解説

第一節 寺院建築	483
----------	-----

一 本堂

1 常福寺本堂／2 無量寺本堂／3 伝福寺本堂／4 覚栄寺本堂／5 観音寺本堂／6 浄楽寺本堂／7 正行院本堂／8 宗門寺本堂／9 長慶院本堂（観音堂）／10 聖徳寺本堂／11

第三章 近世民家

第二節 神社建築

- 1 近殿神社本殿／2 走水神社本殿／3 住吉神社本殿／4 十二所神社本殿／5 吾妻社本殿／6 西叶神社本殿・幣殿・拝殿／7 三浦正八幡宮本殿

592

二 境内仏堂

- 眞福寺本堂／12 信楽寺本堂／13 東漸寺本堂／14 持経寺本堂／15 円乗院本堂／16 慈眼院本堂／17 等覚寺本堂／18 本行寺本堂／19 妙覚寺本堂／20 静円寺本堂／21 龍本寺本堂／22 勸明寺本堂／23 浄土寺本堂／24 常光寺本堂／25 浄栄寺本堂／26 正禪寺本堂／27 清雲寺本堂／28 獨園寺本堂／29 東光寺本堂（旧薬師堂）／30 能永寺本堂

三 門

- 1 眞福寺観音堂／2 龍本寺鬼子母神堂／3 顕正寺東耀稲荷堂・内神殿／4 曹源寺薬師堂

四 厨子

- 1 無量寺山門／2 大明寺仁王門／3 勸明寺表門／4 盛福寺山門／5 正禪寺山門／6 自得寺山門／7 能永寺山門
- 1 常福寺本堂内脇厨子／2 無量寺本堂内厨子（旧観音堂厨子）／3 曹源寺薬師堂内厨子

五 庫裏

- 1 伝福寺庫裏／2 円乗院庫裏／3 等覚寺庫裏／4 正禪寺庫裏

第四編 彫刻

口 絵

第一章 概説

第一節 はじめに

第二節 古代の寺院と彫刻

一 白鳳・天平時代

665

666

第一節 長屋門

609

一 はじめに

二 個別解説

- 永島家長屋門（佐野町）／柳井家長屋門／鈴木家長屋門／若命家長屋門

第二節 民家主屋

616

一 はじめに

二 近世民家主屋の分布と残存状況

三 横須賀市域近世民家主屋の屋根形態・平面・構造

- 屋根の形態／各室の呼称／間取りの型と年代変化／間取り各部の変化／構造の基本／構造の変化／近年の改造

四 民家の造営工匠

五 民家図面

二 平安時代

第三節 中世の彫刻

一 鎌倉時代前期

二 鎌倉時代中・後期

三 南北朝時代

四 室町時代

第四節 近世の彫刻

一 桃山時代

二 江戸時代

第二章 作品解説

693

- 1 木造釈迦如来坐像 清雲寺／2 木造釈迦如来坐像 法道寺／3 木造釈迦如来坐像 大明寺／4 木造釈迦如来立像 妙真寺／5 木造釈迦如来及び両脇侍像 良長院／6 木造宝冠釈迦如来坐像 満昌寺／7 木造宝冠釈迦如来坐像 満願寺／8 木造宝冠釈迦如来坐像 獨園寺／9 銅造釈迦誕生仏立像 正蓮寺／10 銅造釈迦誕生仏立像 光心寺／11 木造一塔両尊像 大明寺／12 木造一塔両尊像 本住寺／13 木造一塔両尊像 善応寺／14 木造一塔両尊像 大光寺／15 木造一塔両尊像 妙忍寺／16 木造如来形坐像 善応寺／17 木造阿陀如来坐像 正業寺／18 木造阿陀如来坐像 貞昌寺別院／19 木造阿陀如来坐像 光雲寺／20 木造阿陀如来坐像 福本寺／21 木造阿陀如来坐像 長善寺／22 木造阿陀如来坐像 良心寺／23 木造阿陀如来立像 正観寺／24 木造

684

672

- 阿陀如来立像 正光寺／25 木造阿陀如来立像 聖徳寺／26 木造阿陀如来立像 不斷寺／27 木造阿陀如来立像 長願寺／28 木造阿陀如来立像 能永寺／29 木造阿陀如来立像 最宝寺／30 木造阿陀如来立像 東漸寺／31 木造阿陀如来立像 満宗寺／32 木造阿陀如来立像 浄土寺／33 銅造阿陀如来立像 伝福寺／34 銅造阿陀如来立像 東漸寺／35 木造阿陀如来及び両脇侍像 大善寺／36 木造阿陀如来及び両脇侍像 浄楽寺／37 木造阿陀如来及び両脇侍像 往生院／38 木造阿陀如来及び両脇侍像 東林寺／39 木造阿陀如来及び両脇侍像 法蔵院／40 木造阿陀如来及び両脇侍像 無量寺／41 木造阿陀如来及び両脇侍像 不斷寺／42 木造阿陀如来及び両脇侍像 眞福寺／43 木造阿陀如来及び両脇侍像 眞福寺／44 木造阿陀如来及び両脇侍像 光心寺／45 木造阿陀如来及び両脇侍像 宗円寺／46 木造阿陀如来及び両脇侍像 専福寺／47 銅造阿陀如来及び両脇侍像 東林寺／48 木造五劫思惟阿陀如来坐像 正業寺／49 木造薬師如来坐像 最宝寺／50 木造薬師如来坐像 東光寺／51 木造薬師如来坐像 長徳寺／52 木造薬師如来坐像 曹源寺／53 木造薬師如来坐像 能満寺／54 木造薬師如来立像 福本寺／55 木造薬師如来立像 満昌寺／56 鉄造薬師如来立像 良長院／57 木造薬師如来及び両脇侍像 東光寺／58 木造大日如来坐像 東光寺／59 木造大日如来坐像 円乗院／60 木造大日如来坐像 大泉寺／61 木造聖観音菩薩

坐像 無量寺／62 木造聖觀音菩薩坐像 正禪寺／63 木造聖
觀音菩薩立像 慈眼院／64 木造聖觀音菩薩立像 自得寺／65
銅造觀音菩薩立像 浄土寺／66 木造菩薩立像 満願寺／67
木造觀音菩薩坐像 清雲寺／68 木造十一面觀音菩薩坐像 莊
嚴寺／69 木造十一面觀音菩薩坐像 専福寺／70 木造十一面
觀音菩薩坐像 景德寺／71 木造十一面觀音菩薩坐像 徳寿院
／72 木造十一面觀音菩薩立像 觀音寺／73 木造千手觀音菩
薩立像 等覺寺／74 木造歡喜天立像 等覺寺／75 木造千手
觀音菩薩立像 光雲寺／76 銅造千手觀音菩薩立像 伝福寺／
77 木造如意輪觀音菩薩坐像 寿光院／78 木造七觀音菩薩像
觀音寺／79 木造文殊・普賢両菩薩坐像 大光寺／80 木造虛
空藏菩薩坐像 能満寺／81 木造地藏菩薩坐像 清雲寺／82
木造地藏菩薩坐像 大泉寺／83 木造地藏菩薩坐像 長善寺／
84 木造地藏菩薩坐像 自得寺／85 木造地藏菩薩半跏像 満
願寺／86 木造地藏菩薩半跏像 東漸寺／87 木造地藏菩薩半
跏像 正住寺／88 木造地藏菩薩半跏像 東林寺／89 木造地
藏菩薩半跏像 伝福寺／90 木造地藏菩薩立像 満願寺／91
木造地藏菩薩立像 東光寺／92 木造地藏菩薩立像 円乗院／
93 木造地藏菩薩立像 貞昌寺／94 木造地藏菩薩立像 能永
寺／95 木造四菩薩坐像 大光寺／96 木造四菩薩立像 等覺
寺／97 木造四菩薩立像 善心寺／98 木造不動明王坐像 長
安寺／99 木造不動明王立像 浄楽寺／100 木造不動明王立像
満願寺／101 木造不動明王及び二童子像 大善寺／102 木造不

動明王及び二童子像 常福寺／103 木造不動明王立像 正禪寺
／104 木造毘沙門天立像 正禪寺／105 木造不動明王坐像 大
光寺／106 木造愛染明王坐像 大光寺／107 木造愛染明王坐像
大善寺／108 木造金剛力士立像 等覺寺／109 木造金剛力士立
像 大明寺／110 銅造金剛力士立像 東光寺／111 木造四天王
立像 大明寺／112 木造四天王立像 大光寺／113 木造毘沙門
天立像 浄楽寺／114 木造毘沙門天立像 清雲寺／115 木造毘
沙門天立像 満願寺／116 木造毘沙門天立像 大善寺／117 木
造十二神將立像 曹源寺／118 木造十二神將立像 正行院／119 木
造梵天立像 妙真寺／120 木造帝釈天立像 妙真寺／121 木
造八臂弁才天坐像 長安寺／122 木造鬼子母神立像 本住寺／
123 木造十羅刹女立像 本住寺／124 木造鬼子母神立像 浄蓮
寺／125 木造十羅刹女立像 浄蓮寺／126 木造鬼子母神立像
妙真寺／127 木造十羅刹女立像 妙真寺／128 木造鬼子母神立
像 大光寺／129 木造閻魔王坐像 正住寺／130 木造閻魔王坐
像 常福寺／131 木造閻魔王坐像 不斷寺／132 木造十王坐像
自得寺／133 木造奪衣婆坐像 自得寺／134 木造俱生神立像
自得寺／135 木造三十番神立像 妙真寺／136 木造七面大明神
倚像 圓照寺／137 木造清正公坐像 正覺寺／138 木造清正公
倚像 大光寺／139 木造聖徳太子立像 聖徳寺／140 木造南無
仏太子立像 長徳寺／141 木造弘法大師坐像 諏訪神社／142
木造善導大師坐像 良心寺／143 木造法然上人坐像 良心寺／
144 木造善導大師立像 東林寺／145 木造法然上人立像 東林

寺／146 木造善導大師立像	伝福寺／147 木造法然上人立像	903
伝福寺／148 木造法然上人坐像	正住寺／149 木造観誓祐崇坐像	888
正行院／150 木造天岸慧広坐像	満昌寺／151 木造一峰玄存坐像	
獨園寺／152 木造暘谷乾幢坐像	正禅寺／153 木造仏観禅師坐像	
景德寺／154 木造日蓮上人坐像	妙印寺／155 木造日蓮上人坐像	
本住寺／156 木造日蓮上人坐像	正蓮寺／157 木造日蓮上人坐像	
法福寺／158 木造日蓮上人坐像	浄蓮寺／159 木造日蓮上人坐像	
正覚寺／160 木造日蓮上人坐像	善応寺／161 木造日蓮上人坐像	
妙真寺／162 木造日蓮上人坐像	大光寺／163 木造日蓮上人坐像	
法道寺／164 木造日蓮上人坐像	栄林寺／165 木造日蓮上人坐像	
静円寺／166 木造日蓮上人坐像	大明寺／167 木造伝日蓮上人坐像	
大明寺／168 木造日朗上人坐像	妙真寺／169 木造伝日栄上人坐像	
大明寺／170 木造三浦義明坐像	満昌寺／171 木造源頼朝坐像	
満昌寺／172 木造石渡則次夫妻坐像	大明寺／173 木造瀬尾良長坐像	
良長院／174 木造和泉屋九兵衛坐像	最光寺	
横須賀市内在銘彫刻年表		888
用語解説		903

第五編 絵 画

口 絵

第一章 概説

第一節 はじめに

第二節 中世

一 遺品の概要

二 文献史料からみた中世絵画

第三節 近世

一 仏涅槃図

二 浄土真宗絵画

三 障屏画

四 その他

第四節 近代「幕末」明治前期

一 長島雪操

二 中林湘雲

三 河鍋曉斎

第二章 作品解説

1 阿弥陀二十五菩薩来迎図 東林寺／2 地藏十王図 能永寺／3 阿弥陀如来像 乗誓寺／4 聖徳太子絵伝 最宝寺／5 蓮如上人像・顕如上人像 最宝寺／6 天神像 天神社／

7 洛中洛外図屏風 大松寺／8 龍図天井 長慶院／9 満昌寺襖絵 満昌寺／10 聞叟玄令像 自得寺・天岸慧広像 満昌寺／11 四季耕作図屏風 個人／12 長島雪操の画蹟（山水図屏風 個人・墨梅図 個人・松竹梅図 個人・写生画帖 個人・龍図天井 八幡神社）／13 石工祈不動明王図額 長安寺

第六編 金 工

口 絵

第一章 仏教工芸

第一節 概説

第二節 作品解説

1 須弥壇 常福寺／2 華鬘 自得寺／3 華鬘 自得寺／4 華鬘 自得寺／5 半鐘 圓照寺／6 梵鐘 西来寺／7 梵鐘 妙真寺／8 梵鐘 浄土寺／9 梵鐘 持経寺／10 半鐘 獨園寺／11 半鐘 莊嚴寺／12 半鐘 光心寺／13 半鐘 西来寺／14 半鐘 景德寺／15 鰐口 妙真寺／16 鰐口 正観寺／17 衣笠城経塚遺物 東京国立博物館／18 白磁合子 観音崎自然博物館／19 阿弥陀如来懸仏 浄楽寺／20 薬師如来懸仏 曹源寺／21 文殊菩薩懸仏 光心寺

第二章 刀 剣

第一節 作品解説

1 太刀 銘 備州長船住元重／2 刀 銘 肥前国忠吉

第七編 石 造 物

口 絵

第一章 石造物について

第一節 資料としての石造物

第二節 石塔について

第二章 横須賀市域の石塔

第一節 個別解説

1 傍示堂／2 雷神社／3 和田山やぐら／4 法福寺／5 天神やぐら／6 正観寺／7 能永寺／8 獨園寺／9 正禅寺／10 正禅寺やぐら／11 観音寺／12 豊海稲荷／13 自得寺／14 陣屋やぐら／15 良心寺／16 長善寺／17 路傍（田浦町）／18 盛福寺／19 屋敷内墓地（坂本町）／20 萬蔵寺／21 了正寺／22 聖徳寺／23 龍本寺／24 西来寺／25 妙栄寺／26 妙真寺／27 路傍（衣笠栄町）／28 光心寺／29 路傍（衣笠栄町）／30 大明寺／31 妙藏寺／32 ちよう塚／33 個人宅内（阿部倉）／34 平作権現神社／35 大光寺／36 個人宅内（平作）／37 個人宅内（平作）／38 妙傳寺／39 庚申塔脇（平作）／40 福泉

寺／41 大善寺墓地／42 衣笠城址／43 セキ地藏／44 個人宅内(衣笠町)／45 満昌寺／46 薬王寺跡／47 薬王寺参道／48 薬王寺やぐら／49 個人宅内(大矢部)／50 清雲寺／51 清雲寺裏／52 墓地(大矢部)／53 瓶塚／54 妙覚寺／55 大津古墳／56 信誠寺／57 覚栄寺／58 圓照寺／59 大泉寺／60 貞昌寺／61 浄林寺／62 路傍(吉井)／63 眞福寺／64 能満寺／65 観音寺跡／66 亀ヶ崎やぐら／67 観音崎自然博物館／68 顕正寺／69 東福寺／70 庚申塔(西浦賀)／71 個人宅内(久比里)／72 宗円寺／73 巴御前墓(佐原)／74 常勝寺／75 聖徳院／76 正覚寺／77 慈眼院／78 巴御前墓(岩戸)／79 満願寺／80 個人宅内(岩戸)／81 墓地(久村)／82 長安寺／83 伝福寺／84 稲荷社／85 最宝寺／86 白髭神社／87 個人墓地(長沢)／88 個人宅内(長沢)／89 個人宅内(長沢)／90 稲荷社／91 墓地(津久井)／92 法蔵院／93 庚申塔脇(津久井)／94 路傍(津久井)／95 莊嚴寺／96 墓地(津久井)／97 往生院／98 庚申塔脇(津久井)／99 東光寺／100 児童公園(津久井)／101 八雲神社／102 弘誓寺／103 大久保町内会館／104 第六天神社／105 不斷寺／106 勸明寺／107 長慶院／108 正住寺／109 三浦縦貫道脇(林)／110 三浦縦貫道上(林)／111 墓地(林)／112 東漸寺／113 満宗寺／114 山林中(太田和)／115 専養院／116 栄林寺／117 善心寺／118 墓地(太田和)／119 宮ノ前やぐら／120 祖母神社／121 路傍(長坂)／122 路傍(長坂)／123 路傍(長坂)／124 妙印寺／125 無量寺／126

長坂やぐら／127 鎮守面神社／128 観音鼻／129 福本寺／130 佐島やぐら／131 熊野社／132 浄楽寺入口／133 稲荷社／134 南光院／135 十二所神社／136 路傍(吉名)／137 浄楽寺／138 神明社／139 稲荷社／140 久留和バス停裏／141 妙忍寺／142 円乗院／143 庚申塔脇(秋谷)／144 庚申塔脇(秋谷)／145 熊野神社

下

分布地図

集計表

第二節 地域の石塔の特色

第三章 銘文集

総括 横須賀の文化遺産

あとがき

文化遺産資料調査会調査員・協力機関および協力者

執筆分担・口絵写真撮影

横須賀市史編さん関係者名簿

『新横須賀市史』発刊計画